

## ■実施報告

### 「金融教育講演会・公開授業（取手第一高等学校）」

#### 【学校の特徴・概要】

茨城県立取手第一高等学校は、1922（大正11）年の創立で、今年、創立96年目を迎える大変長い歴史と伝統のある学校です。

生徒たちは、大変恵まれた教育環境の中で、勉強・部活・生徒会活動に励んでいます。2003年度には、将来の生き方、進路選択について主体的に考え、また、自分の力で将来を切り拓いていく人材の育成を目指し、単位制総合学科に改編されました。

本校職員は、社会の激しい変化に対応するため、日々研鑽し、生徒一人一人と向き合っその夢を実現するべく進路指導・教育指導・生徒指導に取り組んでいます。

#### 【金融教育講演会・公開授業（11月7日開催）】

11月7日（水）に金融教育講演会・公開授業を開催し、研究校として2年間（29・30年度）金融教育に取り組んできた成果を発表したほか、1年生および3年生で公開授業を開催しました。また、山田真哉氏による講演会も開催されました。

＜参加者＞

780名

- 生徒：720名、開催校教員：50名、教育委員会：1名、  
他校教員：8名、地域の方々：1名

#### 1. 講演会

山田真哉氏から、「今から始める将来設計と資産運用について」と題する講演が行われました。

まず初めに“会計のセンス”について、人の判断に影響を与えるアンカリング効果、プロスペクト理論、サンクコストバイアス、メンタルアカウンティングといった用語を交えて説明して頂き、さらに、具体的な資産運用の考え方や、ドルコスト平均法などの手法についての話しもあり、「将来のためになる非常に有意義な講演内容だった」との声が多数聞かれました。



## 2. 公開授業

- (1) “講師からの提言 中間発表”と題し、「産業社会と人間」の授業において、地域の様々な業種で活躍される外部講師 11 人を招き、各講師から与えられた社会問題の解決を探る“講師からの提言”に対する中間発表と意見交換を実施しました。

(1年次の授業の様様)



- (2) “いま、よみがえるメセナ”と題し、「世界史A」の授業において、古代ローマに起源をもつメセナ(企業の文化支援活動)に関する討議に加え、もし今 10 万円があったら、『自分はどのように考えどんな団体に寄付するのか?』を考えるワークショップを実施しました。

(3年1組の授業の様様)



- (3) “フリマサービスとは何か”と題し、「政治・経済」の授業において、フリマサービスの仕組みや、消費者トラブルの問題に関する討議を実施しました。

(3年2組の授業の様様)



- (4) “連続複利とネイピア数”と題し、「数学Ⅲ」の授業において、複利法による金利と、連続金利の極限值がネイピア数に収束することの証明に関する討議を実施しました。

(3年6組の授業の様様)



### 3. 研究協議

金融教育研究校の委嘱を受け、研究テーマを「正しい知識を身に付け社会参画の意欲を高める金融教育」とし、金融教育の研究に取り組んできました。

本校の従来の教育活動である①商業に関する科目、②家庭基礎、③インターンシップ、に加え、④1年次担任による『道徳』でのお金の授業、⑤株式学習ゲーム、⑥ソニー生命プランナーによるライフプランニングのグループワーク、⑦司法書士会による“契約”に関する講演会、⑧ベンチャー支援を専門とされている吉田雅紀氏による“起業”に関する講演会、をこれまでに実施しました。

今後は、①とりで産業まつりへの出店、②証券取引所・大学・商店街へのバス見学会、③保護者対象の“進学マネー講演会”、を実施する予定となっています。

### 4. 開催日のプログラム

- 13:00～13:10 開会式  
主催者挨拶  
茨城県金融広報委員会副会長 吉田 豊  
茨城県立取手第一高等学校校長 田村 和浩
- 13:10～14:10 講演「今から始める将来設計と資産運用について」  
講師：山田 真哉氏
- 14:30～15:20 公開授業（5校時）  
「産業社会と人間」（1年次）
- 15:30～16:20 公開授業（6校時）  
「世界史A」（3年1組）  
「政治・経済」（3年2組）  
「数学Ⅲ」（3年6組）
- 16:30～17:00 研究討議  
「本校の金融教育について」  
授業担当者（茨城県立取手第一高等学校教諭）  
大滝 修、羽富 康成、亀田 陽介  
主催者挨拶  
茨城県金融広報委員会副会長 吉田 豊

以 上